

助成事業実施報告書

団体名.....自立援助ホーム 東樹
 代表者・役職名 氏名.....ホーム長 藤原優作

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

自立援助ホーム「東樹」生活改善事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成6年6月より自立援助ホーム「東樹」として15歳～18歳の青少年の自立支援を実施

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

、寝具について重たい布団を使い、クッション性のない平らな枕で寝ており、寝る時の安らぎを感じられていない。そして、重たいが故に干すことへのためらいが見られるので、生活習慣・生活空間の改善 FAX 付きプリンターを購入することで他機関との連携を密に図る

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

寝具について、長く使い続けられるように羽毛布団セットの購入と毛布の購入
 他機関との連携をスムーズにするため、FAX 付きプリンターの購入。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

布団を一式交換したことで、生活空間が落ち着き、一人一人がしっかりと睡眠をとれ、一日の始まりを清々しく迎えられているように感じる。また定期的に布団を干すという生活習慣も少しずつ芽生えてきている。
 FAX 付きプリンターを購入した事で、他機関との連携がスムーズにとれるようになった。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

課題としては定期的に干すという生活習慣が出来るまでの声掛けを職員一人一人が促していくこと。
 他にも生活空間を整えるために、何が必要かを常に検討して、支援していくこと。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし